

令和2年度 学習案内 (シラバス)

教科	国語	学年	2	担当者	石田・小澤・木村
----	----	----	---	-----	----------

◇ 国語科の目標

確かな言語能力の育成と一人一人の能力の伸長

◇ 1年間の学習計画 (○国語Aでの学習内容／●国語Bでの学習内容)

月	学習内容	月	学習内容
6	1 広がる学びへ ○見えないだけ (休業中課題) ○アイスプラネット (休業中課題) ○枕草子	9	○字のない葉書 ○モアイは語る ●敬語 ●同じ訓・同じ音をもつ漢字
	7	2 多様な視点から ○生物が記録する科学 - バイオロギングの可能性 - ○魅力的な提案をしよう - プレゼンテーションをする - ●熟語の構成 ●自立語 ●類義語・対義語・多義語 ●用言の活用	10 5 いにしへの心を訪ねる ○平家物語 ○扇的「平家物語」から ○仁和寺にある法師「徒然草」から 11 ○漢詩の風景 書写：書き初め 6 論理を捉えて 12 ○君は「最後の晚餐」を知っているか ○落葉松
8		3 言葉と向き合う ○新しい短歌のために・短歌を味わう ○メディアと上手に付き合うために ○言葉の力 ○世界で一番の贈り物	1 7 表現を見つめて ○走れメロス ○科学はあなたの中にある 2 ○話し合って考えを広げよう ●方言と共通語
	9	4 関わりの中で ○盆土産	3 ○一年間の学びを振り返ろう ○鍵 ●送り仮名

◇ 評価方法

評価の観点 (身に付けたい力)		評価の方法	%
関心・意欲・態度	国語の学習に対する関心を深め、国語を尊重し、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする力	定期テスト・授業の取組・提出物 (ノート・ワーク等) 硬筆・書き初め	20
話すこと 聞くこと	自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、目的や場面に応じ、構成を工夫して話したり、話し合ったりする力、話し手の意図を考えながら聞く力	授業の発言・音読・スピーチ・話し合い活動・リスニング	20
書くこと	自分の考えを豊かにしたり、深めたりして、相手や場面に応じ、構成を考えて的確に文章に書く力	定期テスト・授業の課題 (感想)・作文課題・詩などの創作	20
読むこと	目的や意図に応じて様々な文章を読み、内容や要旨を捉える力、また読書を通して見方や考え方を広げようとする力	定期テスト・授業の取組・作品の内容理解	20
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	表現と理解に役立てるための音声、語句、語彙、文法、漢字等について理解し、知識を身に付ける力。書写では文字を正しく整えて速く書く力	定期テスト・漢字スキル 古文暗唱・書き初め	20

◇ 学習のアドバイス

- ◇ 毎時間の漢字学習で漢字力を付けていきましょう。授業では、自分の考えを発表したり、ノートを整理したりして書いてみましょう。テストで点数を取るには、ワークや文法の問題集を繰り返し解くことです。また積極的に読書や対話を通して語彙力 (言葉の数) を増やしていきましょう。
- ◆ 漢字練習帳を繰り返し復習し、音読み・訓読み、書き順を確認しましょう。
 - ◆ ワークはテスト前に提出します。早めに通り返組み、見直すことで力がついてきます。
 - ◆ 文法は復習を中心に行ってください。積み重ねの学習なので、何度やっても効果があります。
 - ◆ 読解や記述力は「読み方」を知ることで身につきます。授業の1コマを大切に、積み重ねましょう。

